

日本大学史学会『日本大学史学会研究彙報』『史叢』総目録(1～100号)

- 凡例1、『史叢』74号以降の雑報、会告は省略した。
 2、一部標記等の不統一についてはご寛恕願いたい。
 3、PDFの検索機能が使用可能である。
 4、101号以降は適宜追記の予定である。

題目	著者	頁
『研究彙報』		
第1輯 昭和32年12月発行		
四川の場合	倉持徳一郎	2
近世漁村の在郷商人－房州館山新井浦島田家の場合	荒居英次	32
漢帝国の性格についての一考察(一)	今村城太郎	52
鎌倉幕府侍所考	龍肅	62
歴史の確実性について－サン・バルテルミーの虐殺に関して	山中謙二	66
史学科学生諸子のために(一)	石田幹之助	69
資料紹介・郡山宿町昇格の資料について	遠藤典夫	72
新刊紹介・伊藤多三郎編「国史生活史の研究」－生活と政治－第一	坂口	75
新刊紹介・The Decline of ROME and the Rise of Mediaeval Europe. By Solomon Katz.	太田	75
新刊紹介・龍肅著「鎌倉時代 上巻」〔関東〕－初期武家政治の性格と実体	大熊	76
第2輯 昭和33年12月発行		
伊藤東涯の実学研究－特に名物学を中心としてみた－	杉本勲	1
漢書賈誼伝について	鎌田重雄	35
東京都練馬区上石神井 城山無土器文化遺跡	榎本金之丞	42
デカブリストとポーランド秘密結社の交渉について	立花隼人	47
史学科学生諸子のために(二)	石田幹之助	57
関東農村の荒廃をめぐる一二の問題－下野国都賀郡下初田村を調査して	村井益男	61
寄贈交換雑誌・図書目録		79
史料調査目録(一) 大出善作家文書	日本大学日本史研究会	80
小山市周辺史料調査報告2	日本史研究会	93
史学科研究活動一斑		95
第3輯 昭和34年12月発行		
進化論の移入と自由民権思想	福田芳郎	1
絲廠襲撃事件をめぐる一清末広東省南海県蚕絲業の展開	津久井弘光	19
栃木県佐野市 越名恵五郎の縄文式土器	村越潔	37
旗本領の成立と分郷	鶴岡隆	46
史学科学生諸子のために(三)	石田幹之助	56
飯沼新田開発に関する諸問題	日本史研究会	58
近世における町田村の一研究	二部日本史研究会	84
史料調査目録(二) 大出善作家文書	日本大学日本史研究会	91
小山市周辺史料調査報告3	日本史研究会	105
発掘調査略報	考古学研究会	106
史学科研究活動一斑		108
昭和三十三年度卒業論文題目		109
寄贈交換雑誌図書目録		111
第4輯 昭和35年12月発行		
明・清時代都市区画考(一)「隅」の構造と分布－明・清時代地誌より見たる－	倉持徳一郎	-1
自由黒人の生活とその才能について	猿谷要	
明治解放令発布の事情について－特に除地問題を中心として	渡辺実	-19
琉球列島の先史文化の一考察－沖縄本島の土器を中心として	賀川光夫	-38
アク・エン・アトン	飯島正義	-51
近世下野国町田村における水利問題	遠藤敬子	-62
幕末北蝦夷地場所開拓の一史料－島井家文書の紹介	村井益男	-72

学生諸子のために(四)	石田幹之助	-89
神奈川県白幡西貝塚調査報告(一)	考古学研究会	-95
小山市周辺史料調査報告4	日本史研究会	-97
史学研究活動一斑		-109
研究室便り		-111
昭和三十四年度卒業論文題目 史学科		-114
寄贈交換雑誌図書目録		-116
第5・6輯 昭和38年12月発行		
長崎の町年寄後藤庄左衛門伝補遺—初期長崎銀座の機能についての一考察—	岩生成一	-1
長州豊浦藩における俵物生産	荒居英次	-10
統一スラブ協会と南方協会の合同問題について	立花隼人	-25
小田原市北窪小原遺跡概報	橋口尚武・橋本正宏	-32
川路聖謨と幕末の政局—聖謨の政見の形成を中心に	笹原一晃	-44
両漢の政治変遷に関する一ノート—主として三老的機能の保持者層の問題をめぐって	今村城太郎	-59
彙報		
南伊豆町近世史料調査報告	〔日本史研究会〕	-66
千葉県夷隅郡大原町周辺調査報告	〔日本史研究会〕	-69
訃報 板沢武雄先生逝去		-69
訃報 和田清先生逝去		-70
論著活動		-70
学術研究発表会(昭和三十五年度)		-71
石田・和田・龍・山中 四先生頌寿記念史学論文集始末記	進士慶幹	-72
昭和三十八年度開設講座		-75
昭和三十五年度卒業論文題目		-76
昭和三十六年度卒業論文題目		-77
昭和三十七年度卒業論文題目		-78
寄贈交換雑誌図書目録		-79
第7輯 昭和39年3月発行		
ニグロ・ルネサンスとその前後	猿谷要	-1
明初の東チヤガタイ=ハン国	松村潤	-19
清代貴州省の養蚕・絹織業の奨励について	津久井弘光	-33
江戸の名水と井戸	進士慶幹	-45
江戸時代上水遺構の一例	高杉洋二郎	-52
二・二六事件と北一輝	石坂富司	-61
古代末期における寛御厨の構造	鈴木国弘	-76
考古学研究会発掘調査及び参加概略		-99
学術研究発表会(昭和三十八年度)		-100
<研究発表論旨>		
茨城県新治郡出島村字安食の太子古墳群発掘調査経過報告	平川泰輔	-101
漢代の循吏	今村城太郎	-102
T・ルーズヴェルト時代の黒人問題	猿谷要	-103
尚方考	鎌田重雄	-104
川崎市影向寺裏貝塚調査概報	澤田大多郎	-104
戦国兵賦考について	草地貞吾	-105
太神宮司庁宣に見る「連署人」の変化について	鈴木国弘	-106
長崎俵物請方商人の研究	荒居英次	-107
満文老档について	松村潤	-108
加賀藩天保期の物価騰貴をめぐって	蔵並省自	-109
駿河日吉廃寺発掘調査の総合結果	軽部慈恩	-110
文治の議奏制について	龍肅	-111
史学研究活動一斑		-112
昭和三十八年度史学科卒業論文題目		-113
<研究室便り>		-114
寄贈交換図書目録		-115

第8輯 昭和39年12月発行

龍肅博士・鮎澤信太郎博士追悼号		
倭五王の外交	肥後和男	-1
中世賤民の存在形態	豊田武	-10
近世後半期の百科事典について	杉本勲	-17
戦国大名後北条氏の「番肴」税制について	実方寿義	-29
分郷村の性格	鶴岡隆	-39
官行鉢山を傭外国人	佐々木正男	-50
東日本に於ける弥生時代の葬制	澤田大多郎	-68
遺影 故龍肅博士・故鮎澤信太郎博士		-83
私の履歴書	故鮎澤信太郎	-85
弔辞—故龍肅博士を悼む	秋葉安太郎	-88
噫、鮎澤信太郎君、追憶と回想	石田幹之助	-89
龍先生の追憶	山中謙二	-94
故鮎澤信太郎の追憶	鎌田重雄	-96
地理的条件の歴史性—鮎川信太郎氏を偲ぶ	籠瀬良明	-98
雑報		
木村清氏寄贈図書目録		-101
南伊豆町近世史料調査報告	〔日本史研究会〕	-102
旧黒田庄調査概報	中世史研究会	-104
「魏志倭人伝」研修会	東洋史研究会	-105
茨城県新治郡出島村所在稻荷塚古墳発掘略報	〔日本大学考古学会〕	-105
研究室だより		-107
史学会だより		-108
文理学部学術研究発表会(昭和三十九年度)		-108
受贈雑誌図書目録(昭和39年)		-108

第9輯 昭和40年12月発行

『海外奇談』について	鎌田重雄	-1
一八二四年のペテルブルグ会議について	立花隼人	-9
加賀藩嘉永期藩政の動向	蔵並省自	-18
江戸藩防備政策の展開と海防掛—弘北・嘉永期幕府政局の一考察	笹原一晃	-25
北一輝の処女作出版と言論界の反響について	石坂富司	-36
古代末期荘園における二つの動向—「笠置荘検田帳」分析に基づく	鈴木国弘	-52
茨城県新治郡出島地方に所在する高塚墳墓の性格と今後の問題	竹石健二	-66
書評 渡辺実著『未解放部落史の研究』	肥後和男	-77
書評 荒居英次著『幕藩制社会の展開過程』	村井益男	-81
倉持徳一郎講師追悼		
故倉持徳一郎先生遺影		-84
倉持先生略年譜 倉持先生論文目録		-85
倉持君の急逝を悼む—幾つかの思ひ出	石田幹之助	-86
倉持君を憶う	木村清	-90
雑報		
研究室だより(昭和四十年)		-95
「石田博士頌寿記念東洋史論叢」について		-95
史学会だより		-96
学術研究発表会(昭和四十年)		-96
昭和三十九年度卒業論文題目		-97
受贈雑誌図書目録		-99

第10輯刊行記念 昭和41年12月発行

第10輯刊行に際して	鎌田重雄	-1
論説		
ルソーとヘルダーの歴史叙述の比較—第十八世紀後半における歴史叙述の一斑	酒井三郎	-2
海保青陵の実現観に及ぼせる桂川氏の影響	蔵並省自	-18
二・二六事件の地方波及について	石坂富司	-27
考古資料よりみた中国の商～漢の住居形態について	澤田大多郎	-41
漢書張騫伝の疑問～とくに烏孫を中心として	大河内隆	-58

近世における房州漁村の性格—外房天面村の土地問題を中心にし	星佳余子	-67
建国史私見	肥後和男	-88
史料紹介		
足軽階級の実態—阿波藩の場合	新見貫次	-103
史学科の歩み		
史学科創設の頃を思ひて	石田幹之助	-116
戦中・戦後の史学科と研究室	進士慶幹・村井益男	-119
史学科規約作成のころ	高杉洋二郎	-124
創刊前後の思い出	仲本英雄	-125
創刊号を編集して	大熊幸男	-128
雑報		
昭和四十一年度研究会活動状況		-130
研究室だより(昭和四十一年)		-134
史学会だより(昭和四十年)		-135
学術研究発表会史学部会(昭和四十一年度)		-135
昭和四十年年度卒業論文題目		-136
受贈雑誌図書目録		-138

『史叢』(『研究彙報』改題)

第11輯 昭和42年12月発行

論説

縄文後・晩期農耕文化の一問題—石鍬などについての分類と技法	賀川光夫	-1
茨城県新治郡出島村所在崎浜横穴墓郡について	竹石健二	-17
蔡倫に関する一・二の問題	斎藤実郎	-33
家斉の将軍就任と一橋治済	横山則孝	-38
四国地方における俵物生産—讃岐を中心として	荒居英次	-57

調査報告

高野山領紀伊國官省府・相賀両荘調査報告	中世史研究会	-107
---------------------	--------	------

雑報

昭和四十二年度研究会活動状況		-125
研究室だより		-128
史学会だより		-129
学術研究発表会(昭和四十二年度)		-129
昭和四十一年度卒業論文題目		-130
受贈雑誌図書目録		-132
誌名の改称		-134

第12・13合併号 昭和44年12月発行

論文

一族結合の中世的特質とその展開—「惣領制」再検討のための基礎作業	鈴木国弘	-1
中世末期における海辺村落の構造—戦国大名後北条氏領豆州内浦の場合	実方寿義	-26
縄文章創期の土器郡とその編年	鈴木保彦	-41
特異な位置に内部主体を有する古墳について	竹石健二	-54

調査報告

近世鹿島灘の漁村と村方史料の所在	近世史研究会	-68
------------------	--------	-----

雑報

史学会だより		-95
研究室だより(昭和四十三年・四十四年)		-95
昭和四十二年度卒業論文題目		-97

第14号 昭和45年12月発行

論文

前漢の酷吏	斎藤実郎	-1
化政期文化と人情本作家—読書の大衆化を中心として	上保国良	-29
垂直分布にみる縄文時代の居住帯とその問題点—特に山形盆地の場合	小形利彦	-48

史料紹介		
下総国葛飾郡大野村御門組壬申戸籍帳控	福地重孝	-60
<昭和45年日本大学文理学部学術研究発表会史学部会発表要旨 「岩倉大使欧米巡回」の企図は何か	中村鑑志	-85
日本資本主義の特質—成立段階での問題	檜山幸夫	-86
在地領主制の展開期における村落構造—特に紀伊国隅田庄を中 て	本田好令	-88
江戸時代字本出版統制について	上保国良	-89
吉田松陰の女子教育	塩谷桂子	-89
大正十三年の宇垣一成の軍縮についての一考察	上原憲一	-91
近代社会における立身出世主義について—『学問のすすめ』が与え た影響について	森下公夫	-93
近世民家における真宗の影響について—特に仏間とサマロについ 「寛政の遺老」について	中尾太郎治	-94
大正デモクラシー期における婦人参政運動について	横山則孝	-94
三上超順について	吉見周子	-96
海保青陵の法思想	田川賢蔵	-98
アジア的生産様式研究序説	蔵並省自	-98
宋教仁の日記について	吉川信一	-99
六世紀前半の扶南国と江南王朝の交渉	片倉芳和	-101
蜀漢政権と豪族	佐藤茂教	-102
前漢朝の烏孫支配について	榊原文彦	-104
漢代の酷吏	大河内隆	-104
両漢経学の基本性格	斎藤実郎	-105
後期ローマ帝国の都市の問題	今村城太郎	-107
社会・政治構造の二重性	豊田実	-107
ロシア共産党内闘争史—ソ連邦の変質と国際共産主義運動のスタ ターリニ	番場勇夫	-108
スト的歪曲	見戸秀充	-108
垂直分布から見た縄文期の居住帯について—山形盆地の場合	小形利彦	-109
中国新石器時代の大型住居址の機能について—西安市半坡遺跡 を中心に	澤田大多郎	-110
社会教育と放送の利用—学校放送「世界の歴史」インタビューとして	石田蕙子	-111
南米ペル国マチュピチュのインカ帝国遺蹟について	佐藤政次	-111
<鎌田重雄先生追悼>		
鎌田重雄先生御略歴(日大関係)		-115
鎌田重雄著作目録(抄)		-116
<鎌田先生の思い出>		
鎌田重雄先生を偲ぶ	福地重孝	-121
東洋史学界の大きな損失	松村潤	-122
鎌田先生を偲びて	荒居英次	-123
あの日・あの時	鈴木国弘	-125
ああ、鎌田先生	竹石健二	-127
鎌田先生の思い出	横山則孝	-128
恩師鎌田先生	榊原文彦	-130
<笹原一晃君を偲ぶ>		
祥心—晃居士回想	北原章男	-131
日大史学会だより(昭和四十五年度)		-134
研究室だより(昭和四十五年度)		-135
昭和四十四年度卒業論文題目		-136
受贈交換図書		-140
第15号 昭和47年3月発行		
論文		
民営鉱山の近代化—都野豊之進と島根県笹ヶ谷・銅ヶ丸鉱山の改 宇垣軍縮の意義—宇垣日記を中心として	佐々木正勇	-1
田代売薬の史的研究	上原憲一	-27
研究ノート	小林肇	-38

住居における宗教空間の展開について(一)ー加賀・能登の真宗民 族を中心にして	中尾太郎治	-57
武昌起義と宋教仁(一)	片倉芳和	-68
新刊紹介		
岩波倭雄『ペドロ・カスイ岐部』	福地重孝	-84
村井益男他著『江戸凶屏風』	北原章男	-87
吉見周子著『婦人参政権』	上原憲一	-88
酒井三郎著『日本西洋史学発達史』	荒居英次	-93
雑報		
日大史学会便り(昭和四十六年度)		-95
研究室だより(昭和四十六年度)		-95
昭和四十三年卒業論文題目		-96
昭和四十五年卒業論文題目		-99
受贈交換図書		-103
第16号 昭和47年9月発行		
論文		
長崎オランダ商館日記における中国船の輸出入数量記事の成立 とその所載頁数	荒居英次	-1
朽木植綱と家光期の幕閣	北原章男	-27
研究ノート		
住居における宗教空間の展開について(二)ー加賀・能登の真宗 民家を中心にして	中尾太郎治	-39
武昌起義と宋教仁(二)	片倉芳和	-52
調査報告		
高野山領紀伊国荒川庄調査報告(昭和四十六年度)	中世史研究会	-70
近世北関東農村の調査報告(昭和四十六年度)	近世史研究会	-75
雑報		
楠木正茂の復活	村田正志	-83
ドイツにおけるナショナリズム運動について	伊藤定良	-84
日大史学会便り		-86
昭和46年度日本大学史学会会計報告		-87
サイゴン図書館寸描	佐藤茂教	-88
研究室だより(昭和四十七年度)		-89
昭和四十六年度卒業論文題目		-90
受贈交換図書		-94
第17号 昭和48年9月発行		
論文		
松平定信政権所見	横山則孝	-1
晶子内親王の入内と立后をめぐる	河村政久	-11
研究ノート		
穂積氏に関する基礎的考察	小池良保	-28
調査報告		
古河藩小山地方の農村について	荒居英次・斉藤幸雄・ 小瀬古正徳・久野寿美・ 小川聰明・加藤禎一	-40
書評		
『笹原一晃遺稿集』	横山則孝	-55
竹石健二著『日本古墳一〇〇選』	久保常晴	-57
雑報		
日大史学会便り(昭和四十八年度)		-58
研究室だより(昭和四十八年度)		-59
〈大学院夏季研修会報告内容〉		
中国人大量虐殺に於ける戦争犯罪行為の意識の問題ー佐々木 元勝『野戦郵便旗』を	檜山幸夫	-60
として		
外国人のみた幕末志士観についてー特にR.L.Stevenson のみた 吉田松陰観を中心にし	大塚英明	-67

て		
日本と中国の近代化について	片倉芳和	-70
成島柳北の攘夷意識に関する概括的知見—『寒檠小稿 四巻』 (嘉永七—安政四)	乾照夫	-72
賑救と正税	高橋渡	-74
東南アジア経済に関し日本が置かれた地位と問題点	佐藤成教	-76
中世後期社会体制再検討のための前提作業	高村隆	-76
昭和四十七年度卒業論文題目		-77
受贈交換図書		-79
第18号 昭和49年9月発行		
論文		
日本書紀における磐井の叛乱の記事について—「制之」と「勿煩 頻奏」の解釈	斎藤実郎	-1
張振武、方維銃殺事件について	片倉芳和	-15
縄文農耕について—試論	三浦和信	-27
京中振給について	高橋渡	-43
成島柳北の洋楽摂取に関する一考察—幕末期における知識人の 思想形成 について	乾照夫	-52
吉田松陰の思想系譜をめぐって—国木田独歩・大庭柯公の場合	大塚英明	-63
<石田幹之助先生追悼>		
石田幹之助先生御略歴(日大関係のみ)		
石田幹之助先生御著作目録		-76
<山中謙二先生追悼>		
山中謙二先生御略歴(日大関係のみ)		
山中謙二御著作目録		-78
<石田先生の思い出>		
石田幹之助博士追想記	佐藤政次	-79
石田先生を憶う	渡邊實	-80
石田先生の思い出	天野平八郎	-81
恩師石田幹之助先生を偲びて	荒居英次	-82
郎世寧の百駿図	松村潤	-83
<山中先生の思い出>		
山中先生についての小言	進士慶幹	-84
追憶記	今村城太郎	-86
一齣の思い出	鈴木国弘	-86
山中先生忘じがたく候	上原憲一	-88
山中先生の授業から	高村隆	-89
日大史学会便り(昭和四十九年度)		-90
研究室便り(昭和四十九年)		-91
昭和四十八年度卒業論文題目		-93
受贈交換図書		-96
第19号 昭和51年3月発行		
論文		
イングランド中世農民経営の歴史的形態	赤沢計真	-1
中国労働立法運動に関する一考察	高綱博文	-19
和泉・鬼高期における住居使用状態の変化について	宮崎隆博	-34
平群氏同族系譜について	小池良保	-45
室町期における在地領主制の展開—紀伊国伊都郡隅田庄を素材 として	高村隆	-54
台湾初期統治の歴史的問題について—台北保良局設置条件の分 析とその日本植民地統治上における意義	檜山幸夫	-64
<福田芳郎先生追悼>		
福田芳郎先生御略歴(日大関係のみ)		-78
<福田先生の思い出>		
福田芳郎先生を悼む	飯本稔	-79
回想のなかの福田先生	小島鉄太郎	-80

福田芳郎先生の思い出	横山則孝	-81
福田先生との会話	上保国良	-82
日本大学史学会便り(昭和五十年年度)		-84
○見学記二題		
浅草・吉原見学記	田京美恵子	-85
浅草・吉原コースをまわって	西岡昭	-86
研究室便り(昭和五十年年度)		-87
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-88
昭和四十九年度卒業論文題目		-89
受贈交換図書		-93
第20号刊行記念 昭和52年3月発行		
第二十号刊行に際して	福地重孝	-1
論文		
明治前期に活躍したフランス人鉱業家たち—生野・別子・山ヶ野	佐々木正勇	-2
鉱山の場合		
応永～永享期における紀伊国の在地領主層の動向	高村隆	-32
吉田松陰に見る蘭学摂取の一過程をめぐって	大塚英明	-44
清代中国における領土主権の思想と行動—とくに司法権問題をめぐって	三浦徹明	-55
ロシア・アメリカ会社の活動について	立花隼人	-67
縄文晩期農耕論についての覚え書	賀川光夫	-76
研究ノート		
近世初期南蛮技術伝播に関する一考察—鉄砲・大砲・造船技術を中心として	牧野真一	-89
B・H・チェンバレン研究序説—『新宗教の発明』による日本批判とその波紋をめぐって	楠家重敏	-99
書評		
蔵並省自編『海保青陵全集』	福地重孝	-108
雑報		
<史学会のあゆみ>		
新学制発足当時の史学科	荒居英次	-110
「会員の入会制」採用について	鈴木国弘	-112
史学会の歩み—東洋史研究会活動を中心に	大河内隆	-113
史学会活動によせて	伊藤定良	-115
日本大学史学会便り(昭和五十一年度)		-117
○見学記二題		
鎌倉見学記	川出優	-118
鎌倉見学記	池田朋子	-119
研究室便り		-120
第21号 昭和52年12月発行		
論文		
徳山藩の俵物役場引請制	荒居英次	-1
寛政改革期における幕領地方支配体制の整備と特質	柏村哲博	-24
太政官正院制の成立—「政体取調」の問題を中心として	角田茂	-37
和泉期における生活様式の変化について—土師器を中心として	野中和夫	-52
調査報告		
バーミヤーンの史跡をめぐって	佐藤政次	-64
雑報		
日本大学史学会便り(昭和五十二年)		-69
○見学記		
市川史跡見学記	乾照夫	-70
研究室便り		-71
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-72
昭和五十年年度卒業論文題目		-74
昭和五十一年度卒業論文題目		-78
受贈交換図書		-82

第22号 昭和53年12月発行

特集 日本における中国前近代史		
研究の現状と課題〔Ⅰ〕	丹喬二	-1
魏晉南北朝史の体系的把握に関する諸研究について	上田和雄	-2
唐均田制研究の現状と問題点	丹喬二	-11
宋朝権力と農民問題に関する学説史的検討	堂前敏昭	-20
論文		
惣官論ノートー領域支配との関連において	川出優	-28
信州飯山藩の本百姓体制について	齊藤幸雄	-43
幕末の対外政策についてー老中阿部正弘と徳川斉昭との関係を 中心として	藤本レイ	-55
<渡辺實先生追憶>		
渡辺實先生御略歴・渡辺實先生主要御著作目録		-68
渡辺實著『近代日本海外留学史』(上・下巻)紹介	大塚英明	-69
<渡辺先生の思い出>		
ナベサンの思い出	佐藤甚次郎	-73
渡辺実君を偲ぶ	原沢文弥	-74
渡辺先輩の思い出	天野平八郎	-76
渡辺實先生を偲んで	荒居英次	-77
日本大学史学会便り(昭和五十三年)		-79
○見学記		
上野・谷中見学記	矢萩一夫	-79
川越見学記	中山世都子	-81
研究室便り		-82
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-84
昭和五十二年度卒業論文題目		-86
受贈交換図書		-90
日本大学史学会会員便り		-94

第23号 昭和54年5月発行

特集 日本における中国前近代史		
研究の現状と課題〔Ⅱ〕		
秦漢帝国と豪族に関する学説史整理	村上吉郎	-1
魏晉南北朝時代の貴族制研究をめぐって	岩重日出丸	-8
清代地主制研究の現状と課題ー清末地主制再編成の問題につい	勝木茂雄	-15
論文		
明治前期における軍人恩給	土居秀夫	-23
研究ノート		
「信濃国伴野庄諏方上社神田相伝系図」再考	鈴木国弘	-37
書評・紹介		
羽根田市治著『上海の県城志』	丹喬二	-43
江戸川区教育委員会編『江戸川区教育百年史』	荒居英次	-46
雑報		
日本大学史学会便り		-48
○見学記		
埼玉古墳群見学会に参加して	葉梨和歌子	-48
「埼玉古墳群」	岩崎秦一	-50
研究室便り		-50
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-52
昭和五十三年卒業論文題目		-53
受贈交換図書		-57
昭和53年度卒業生就職先一覧		-61

第24号 昭和54年12月発行

論文		
神奈川県における弥生式文化成立期に関する一試論	澤田大多郎	-1
伊豆七島嶋方会所と頭取方三井家	亀井玲子	-11
明治期における海外移住の動向ーメキシコ契約移民の場合	古館豊	-25
高麗武人政権下の文臣についてー科挙制度を中心にして	新田牧雄	-38

新刊紹介		
斎藤実郎著『アジア史論』	加藤直人	-50
梅島満著『古瓦の研究』	高杉洋二郎	-51
山中謙二著『中世のキリスト教』	飯本稔	-52
○見学記		
民家園・枳形城址見学記	宮内美枝	-53
「日本民家園」を訪ねて	大前彰	-54
<月例会研究発表要旨>		
中世後期武家本領における村落支配について	高村隆	-56
史学研究室の移転について	荒居英次	-57
日本大学史学会便り		-59
研究室便り		-61
受贈交換図書		-63
第25号 昭和55年5月発行		
論文		
所謂土こうの機能についての一考察	竹石健二	-1
戦国大名後北条氏の武蔵松山進出	大島宏一	-11
明治初期における測量技師	坂本守央	-27
研究ノート		
大兄の制に関する基礎的考察	本間満	-38
新刊紹介		
福地重孝先生還暦記念論文集刊行委員会編『近代日本形成過程の研究』	古館豊	-50
<豊田武先生追悼>		-53
豊田武先生御略歴・豊田武先生主要著作目録		-54
<豊田先生の思い出>		
豊田先生の思ひ出	村井益男	-55
恩師豊田武先生を偲んで	荒居英次	-56
豊田先生を偲びて	吉見周子	-58
懐しいあの“清冽な緊張感”	鈴木国弘	-59
豊田先生の優しさと厳しさ—豊田先生を偲んで	高村隆	-60
豊田先生の言葉	川出優	-61
雑報		
日本大学史学会便り		-62
○見学記		
鎌倉の史跡を訪ねて	伊藤克己	-63
鎌倉史跡見学記	黒川英子	-64
研究室便り		-65
昭和54年度卒業論文題目		-67
受贈雑誌・図書目録		-72
日本大学史学会会員便り		-76
昭和五十四年度卒業生就職先一覧		-84
第26号 昭和55年12月発行		
論文		
嵯峨の屋おむろと『野末の菊』について	福地重孝	-1
近世後期における農村金融について—村借入金(郷借)を中心と	竹中真幸	-13
前漢の西城進出と烏孫の動向—漢の烏孫支配に関連して	大河内隆	-30
史料紹介		
秋葉家文書について	荒居英次	-43
秋葉家史料目録(一)	日本大学近世史研究会	-45
書評		
荒居英次編『日本史の諸問題』	大濱徹也	-58
鈴木国弘著『在地領主制』	高村隆	-63
雑報		
研究室便り		-70
受贈雑誌・図書目録		-72

第27号 昭和56年5月発行

故荒居英次先生追悼号

＜故荒居英次先生を偲んで＞		
荒居英次先生遺影		
弔詞	福地重孝	-1
荒居英次先生年譜ならびに著作目録		-3
論文		
東洋文庫所蔵の満洲語文献	松村潤	-8
宋教仁暗殺事件について	片倉芳和	-19
ジョージ・カニングとスペイン干渉問題――一八二二年一〇月～二三年四月	藤井信行	-35
史料目録		
秋葉家史料目録(二)	日本大学近世史研究会	-52
＜秋季講演会発表要旨＞		
ローマ帝国における社会福祉のあり方―アリメンタ制度をめぐって	坂口明	-63
＜月例会発表要旨＞		
ウィーン体制下における「ヨーロッパ協調」とイギリスの外国政策―ジョージ・カニングのヴェロナ会議への対処をとおして	藤井信行	-64
B・H・チェンバレンのアイヌ研究の再検討	楠家重敏	-66
後北条氏の支城領について	大島宏一	-67
中国古代の社について	河村原	-68
雑報		
研究室便り		-69
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-70
昭和五十五年度卒業論文題目		-71
受贈雑誌・図書目録		-76
会員研究業績一覧(昭和五十五年六月～五十六年五月)		-79

第28号 昭和56年12月発行

論文		
戦国大名後北条氏の支城制について―支城(領)の設定と支城主・城代の権力範囲	實方壽義	-1
明治初年における東京府の都市下層対策	牛米努	-16
史料紹介		
秋葉義之宛文人書翰について	小松修	-30
史料目録		
秋葉家史料目録(三)	日本大学近世史研究会	-41
新刊紹介		
護雅夫・神田信夫編『北アジア史』(新版)	加藤直人	-54
＜肥後和男先生追悼＞		
肥後和男先生御略歴		-56
肥後和男先生主要著作目録		-57
＜春季講演会講演要旨＞		
遊牧民族における英雄文学の発生序論	護雅夫	-58
雑報		
研究室便り		-59
受贈雑誌・図書目録		-61

第29号 昭和57年7月発行

論文		
茨城県新治郡所在の白幡古墳群について	竹石健二	-1
サトウ、チェンバレン関係図書目録について	楠家重敏	-30
いわゆる十月事件と軍中央部の動向	上原憲一	-49
研究ノート		
琉球王府編纂史書の先島記事について―中山入貢とアカハチの	得能寿美	-61
史料紹介		
山田中将日記―西南の役	福地重孝	-70
史料目録		
秋葉家史料目録(四)	日本大学近世史研究会	-79

＜秋季講演会講演要旨＞		
先史時代の埋葬と他界思想	賀川光夫	-93
＜月例会発表要旨＞		
縄文土器研究の方法	鈴木保彦	-95
二つの書物を結ぶもの—『秦の始皇帝』と『私の中国人ノート』	斎藤実	-96
五世紀から六世紀にいたる王権の連続性について—特に継体朝との関連において	小池良保	-97
漢書陳湯伝に就いて	大河内隆	-98
雑報		
研究室便り		-99
昭和五十六年度卒業論文題目		-103
受贈雑誌図書目録		-107
会員研究業績一覧(昭和五十六年六月～昭和五十七年五月)		-111
第30号刊行記念 昭和58年1月発行		
「史叢」第三十号の発刊にあたって	村井益男	-1
論文		
近世北関東農村における遊日と若者仲間—遊芸興行によせて	五十嵐富夫	-2
近世末、都市支配と侍身分・侍奉公人の町地混住—金沢城下町を事例に	田中喜男	-18
近世天竜川水運の成立と発展—樽木の流通過程を中心にして	村瀬典章	-36
正徳元年末の新番衆について	横山則孝	-53
西周時代の邑と里について	河村原	-77
史料目録		
秋葉家史料目録(五)	日本大学近世史研究会	-91
＜春季講演会講演要旨＞		
『信長公記』の作者太田牛一の世界	岩澤愿彦	-105
＜月例会発表要旨＞		
B・H・チエンバレン関係書簡の基礎的研究	楠家重敏	-106
雑報		
研究室便り		-108
昭和五十七年度非常勤講師		-109
昭和五十七年度開講科目一覧		-109
受贈雑誌・図書目録		-110
日本大学史学会「研究彙報」・「史叢」総目録		-117
第31号 昭和58年5月発行		
論文		
南宋末江南デルタにおける抗租について—黄震『慈溪黄氏日抄分類』の分析を中心に—	丹喬二	-1
寛政の改革と山東京伝	上保国良	-26
幕末横浜在留外国人遊歩地と見張番屋	小松修	-42
史料目録		
秋葉家史料目録(六)	日本大学近世史研究会	-59
＜秋季講演会講演要旨＞		
近代ドイツにおける「ユダヤ人」の位置	長沼宗昭	-77
雑報		
研究室便り		-78
日本大学文理学部研究発表会(史学部会)		-78
昭和五十七年度卒業論文題目		-80
昭和五十七年度博士課程前期修了論文題目		-85
受贈雑誌・図書目録		-85
会員研究業績一覧(昭和五十七年六月～五十八年五月)		-86
第32号 昭和58年11月発行		
論文		
『信長公記』の作者太田牛一の世界	岩澤愿彦	-1
天理図書館蔵『伊犁奏摺』について	加藤直人	-18
研究ノート		

悪党の結合形態について—黒田庄悪党における縁者についての —考察—	渡辺浩史	-41
史料紹介		
「秋葉家文書」寄託の経緯について	村井益男	-55
史料目録		
秋葉家史料目録(七)	日本大学近世史研究会	-58
新刊紹介		
戦国大名論集8 佐藤栄智編『後北条氏の研究』	岩澤愿彦	-67
<春季講演会要旨>		
人類史の意味と価値	中村英勝	-69
<月例会発表要旨>		
大正初期国策論争の動向	石川泰志	-71
樽木川下げ方法の変化について—天竜川を事例に	村瀬典章	-72
雑報		
研究室便り		-73
昭和五十八年度非常勤講師		-74
昭和五十八年度開講科目一覧		-74
受贈雑誌・図書目録		-75
日本大学史学役員		-79
第33号 昭和59年7月発行		
論文		
ローマ帝政前半期における富裕者のmunificentia—私的アリメンタ 基金を中心に—	坂口明	-1
研究ノート		
モンロー・ドクトリンに関する諸研究	藤井信行	-22
史料目録		
秋葉家史料目録(八)	日本大学近世史研究会	-34
<月例会発表要旨>		
川崎市宮前区影向寺址総合調査の成果と課題	野中和夫	-45
ネヴィル・チェンバレンとミュンヘン協定—研究史的考察—	藤井信行	-47
雑報		
研究室便り		-49
日本大学文理学部学術研究発表会		-50
昭和五十八年度卒業論文題目		-51
昭和五十八年度博士課程前期修了論文題目		-55
受贈雑誌図書目録		-55
会員研究業績一覧(昭和五十八年六月～五十九年五月)		-61
第34号 昭和60年1月発行		
論文		
突厥の即位儀礼	護雅夫	-1
譜代土井氏の古河再封と新領支配—宝暦～寛政期の地方支配 政策を中心に—	竹中眞幸	-18
伊勢神宮の創祀について	荘司三郎	-38
研究ノート		
袁宏『後漢紀』序・引用の「漢名臣奏」について	斎藤実郎	-54
史料目録		
秋葉家史料目録(九)	日本大学近世史研究会	-63
<春季講演会講演要旨>		
近世関東における幕府領の地域特性	村上直	-78
<月例会発表要旨>		
上州山中領における「割元」制	小松修	-79
西周時代の異族について—淮夷について—	河村原	-81
マニエリスムとネオ・プラトニズム—アカデミア・プラトニカからアカ デミア・デル・ディセーニヨまで—	伊達興治	-82
The Asiatic Society of Japanの成立	楠家重敏	-84
雑報		
昭和五十九年度非常勤講師		-85

昭和五十九年度開講科目一覧	-86
受贈雑誌・図書目録	-87
日本大学史学会役員	-93
研究室便り	-94

第35号 昭和60年6月発行

論文		
ヴィクトリア朝立憲君主制の実態(一)	中村英勝	-1
鎌倉幕府初期の訴訟制度に関する一考察—訴訟機関を中心とし	工藤勝彦	-20
江戸期における陰陽道と暦道—土御門家と幸福井家—	遠藤克己	-38
近世後期における潰株再興と村—相州大住都石田村を例として	桜井昭男	-56
天皇巡幸における学校奉迎指導—明治14年、山形県を中心として	宮崎康	-71
研究ノート		
ナチスの対ポーランド占領政策—その経済政策とヘルマン・ゲーリ	木畑和子	-86
ング工業所の活動に関する覚書—		
新刊紹介		
濱屋雅軌著『黒船と幕府』	楠家重敏	-101
B・H・チェンバレン著楠家重敏解説“THINGS JAPANESE”	加藤直人	-102
<月例会発表要旨>		
律令皇太制の成立について	本間満	-104
荒廃下農村における土地移動形態の変遷—下野国郡賀郡の事例	竹中眞幸	-105
清代広西における改土帰流—その問題点と課題—	田中拓雄	-107
ミュンヘン協定と国民世論—“タイムズ”紙にみられる国民世論の	藤井信行	-108
動向—		
雑報		
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-110
昭和五十九年度卒業論文題目		-112
昭和五十九年度博士課程前期修了論文題目		-115
受贈雑誌図書目録		-115
研究室便り		-120

第36号 昭和61年2月発行

特別寄稿		
学史をまなんで	斎藤忠	-1
論文		
古墳時代祭祀の一側面—いわゆる祭と墓の分化をめぐって—	岩崎卓也	-15
竪穴住居の出現とその普遍性について—縄文時代草創期後半を	野中和夫	-32
中心として—		
研究ノート		
縄文晩期中葉における不定形石器の認識	町田勝則	-60
史料目録		
秋葉家史料目録(十)	日本大学近世史研究会	-75
書評		
遠藤克己著『近世陰陽道史の研究』	桃裕行	-85
新刊紹介		
富田仁編『海を越えた日本人史典』	佐々木正勇	-87
<月例会発表会>		
ギリシア神話とウガリト文学	遠藤深雪	-89
アルシュテット同盟にみられるトーマス・ミュンツァーの改革方式	藤井潤	-90
近衛新体制運動における日米関係	風間康起	-91
清末、江蘇省における郷紳支配について	斉藤史範	-92
雑報		
昭和六十年度非常勤講師		-94
昭和六十年度開講科目一覧		-94
受贈雑誌図書目録		-96
日本大学史学会役員(昭和六十年度)		-106
研究室便り		-107

第37号 昭和61年6月発行

<故 飯本稔先生追悼号>

故 飯本稔先生遺影

弔詞

村井益男 -1

飯本稔先生年譜ならびに著作目録

-3

論文

ヴィクトリア朝立憲君主制の実態(二)

中村英勝 -5

平安時代火葬墓の性格とその背景

小林克 -11

「海防彙議」に載せられた「海防説階」について

藤本レイ -25

明治5年の司法省視察団

藤田正 -45

史料目録

秋葉家史料目録(十一)

日本大学近世史研究会 -62

新刊紹介

柏村哲博著『寛政改革と代官行政』

横山則孝 -83

雑報

日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)

-85

昭和六十年卒業論文題目

-87

昭和六十年博士課程前期修了論文題目

-90

昭和六十年博士課程前期九月修了論文題目

-90

研究室便り

-90

第五十一回(昭和六十年)日本考古学協会大会受贈図書一覧

-91

受贈雑誌・図書目録

-107

第38号 昭和62年1月発行

論文

撰津藤原氏の村落支配と「氏」結合の展開—近衛家領垂水牧地
域を例として—

鈴木国弘 -1

鎌倉中期迄の「悪党」

渡辺浩史 -28

鎌倉幕府初期の訴訟制度に関する考察(Ⅱ)—鎮西における幕府
裁判権—

工藤勝彦 -42

伊勢国司北畠氏の神三郡支配に関する一試論

小林秀 -60

近世在郷町の構造(上)—加賀藩越中福野町を事例に—

田中喜男 -75

史料目録

秋葉家史料目録(十二)

日本大学近世史研究会 -98

<春季講演会発表要旨>

好太王碑について

松村潤 -111

<月例会発表要旨>

近世中・後期の村落支配と組合村制

小松修 -113

『久松日記』にみる大目付営中勤務について

田淵正和 -114

雑報

昭和六十一年度非常勤講師

-117

昭和六十一年開講科目一覧

-117

受贈雑誌・図書目録

-119

研究室便り

-128

第39号 昭和62年7月発行

論文

鉢山技術塩野門之助(上)—住友派遣のフランス留学生—

佐々木正勇 -1

近世在郷町の構造(下)—加賀藩越中福野町を事例に—

田中喜男 -17

洋楽導入者ダクロン考

中村理平 -29

先秦方孔銭について—考察—燕・竈銭を中心に—

湯本豪一 -42

中国「全国実業会議」—一九二四年—について

高綱博文 -55

研究ノート

アナル派と現代歴史学—大学院・中村ゼミ合宿 読書会報告記

大学院・中村ゼミ -80

史料目録

秋葉家史料目録(十三)

日本大学近世史研究会 -86

書評

楠家重敏著『ネズミはまだ生きている—チェンバレンの伝記—』

富田仁 -108

鈴木國弘編『俣賀文書』

國守進 -112

<月例会発表要旨>

宗教改革期のヴィッテンベルク大学ーエルンスト家治世の大学改 雑報	藤井潤	-115
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-117
昭和六十一年度卒業論文題目		-118
昭和六十一年博士課程前期修了論文題目		-122
受贈雑誌・図書目録		-122
研究室便り		-127
第40号 昭和62年12月発行		
論文		
秦の始皇帝の巡幸と方士	斎藤実郎	-1
旗本の家格と役職の対応についてー甲府勤番支配就任者の昇進 過程を素材としてー	田淵正和	-15
研究ノート		
親鸞晩年の苦悩追憶	石坂富司	-32
特集・中国史上の諸問題〔I〕		
中国学界における「古代」史分期問題と封建社会土地所有制形式 問題(その一)封建社会土地所有制形式問題	丹喬二	-47
明清時代の「郷紳」に関する学説史的検討	斎藤史範	-78
史料目録		
秋葉家史料目録(十四)	日本大学近世史研究会	-90
進士慶幹先生追悼遺影・略歴・主要著作目録		-107
<春季講演会発表要旨>		
二十世紀ヨーロッパ歴史思想の開幕	岸田達也	-110
<月例会発表要旨>		
鎌倉幕府の認識した悪党	渡辺浩史	-112
雑報		
昭和六十二年非常勤講師		-114
昭和六十二年開講科目一覧		-114
飯本節子氏(故飯本稔教授令夫人)寄贈図書(1)		-116
増永豪男氏寄贈図書		-133
受贈雑誌・図書目録		-134
日本大学史学会役員(昭和六十二年)		-143
日本大学史学会会則		-144
研究室だより		-145
第41号 昭和63年8月発行		
論文		
ヴィクトリア朝立憲君主制の実態(三)	中村英勝	-1
後金国の山城・都城遺跡の調査	松村潤	-12
鉱山技師塩野門之助(下)ー住友派遣のフランス留学生ー	佐々木正勇	-26
明清時代の紳士についてー丹徒県の姚氏の場合ー	斎藤史範	-41
研究ノート		
特集 中国史上の諸問題〔II〕		
中国古代史研究とその課題ー特に「土地所有」問題にふれてー	中野浄	-55
宋代史の全体的把握のためにー時代区分論争の再検討ー	井上範男	-67
史料目録		
秋葉家史料目録(十五)	日本大学近世史研究会	-79
福地重孝・中村英勝両先生の古稀を祝って	佐々木正勇	-99
福地重孝先生年譜ならびに主要著作目録		-100
中村英勝先生年譜ならびに主要著作目録		-101
<秋季講演会講演要旨>		
寺院過去帳の歴史地理的考察	菊池万雄	-102
<月例会発表要旨>		
「摂関期」の政治機構における外記	黒滝哲哉	-105
雑報		
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-107
昭和六十二年博士課程前期修了論文題目		-111
受贈図書目録		-112

研究室だより		-115
第42号 平成元年5月発行		
論文		
「刀自」考一首・刀自から家長・家屋へー	義江明子	-1
地方改良運動と女性対策	吉見周子	-15
研究ノート		
特集・中国史上の諸問題〔Ⅲ〕		
中国史上における「共同体」について	伊藤潤	-29
宋代郷村社会論に関する学説史研究ー唐宋変革論への準備ー	佐藤明	-41
史料目録		
秋葉家史料目録(十六)	日本大学近世史研究会	-51
<月例会発表要旨>		
律令制下の部姓について	武廣亮平	-68
義済会の設立と活動ー大正期軍隊の一側面ー	郡司淳	-69
雑報		
昭和六十三年度非常勤講師		-71
昭和六十三年度開講科目一覧		-71
飯本節子氏(故飯本稔教授令夫人)寄贈図書(2)		-73
受贈図書・雑誌目録		-79
日本大学史学会役員		-92
日本大学史学会会則		-93
研究室だより		-94
第43号 平成元年12月発行		
論文		
羽柴政権と京家領ー賀茂別雷社領・大徳寺興臨院領の場合ー	岩澤愿彦	-1
部姓の性格についてー称徳朝の改賜姓記事を中心としてー	武廣亮平	-19
アルシュテット滞在期のトーマス・ミュンツァーー農民戦争前の思想の考察ー	藤井潤	-38
研究ノート		
特集・中国史上の諸問題〔Ⅳ〕		
中国学界における「古代」史分期問題と封建社会土地所有制形式問題(その二)「古代」史分期問題	丹喬二	-50
居延漢簡の整理についてーマイケル・ローウェー氏の方法の再検	宮崎洋一	-81
史料目録		
秋葉家史料目録(十七)	日本大学近世史研究会	-95
<秋季講演会講演要旨>		
土地がら・国がら	塚本学	-103
<月例会発表要旨>		
明清時代、福建の墟市について	斎藤史範	-104
今川氏の領国支配についてー時間的経過と今川氏の対応の変化についてー	臼井進	-105
雑報		
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-107
昭和六十三年度修士論文題目		-108
昭和六十三年度卒業論文題目		-108
昭和六十三年度通信教育部史学科卒業論文題目		-111
受贈図書・雑誌目録		-112
研究室だより		-119
第44号 平成2年6月発行		
論文		
戦国期における下総国高城氏の所領支配について	高村隆	-1
清末民国期河南省の養蚕等奨励とその展開	津久井弘光	-18
宋代茶業の専門化について	井上範男	-41
研究ノート		
実務官僚体制の成立から見た「摂関政治」論	黒滝哲哉	-53
史料目録		

秋葉家史料目録(十八)	日本大学近世史研究会	-69
新刊紹介		
進士慶幹著『近世武家社会と諸制度』	横山則孝	-80
<春季講演会講演要旨>		
国の住人・村の住人—中世社会論の一コマ—	鈴木国弘	-82
<月例会発表要旨>		
考古学と古代史学	武廣亮平	-84
「儀式」の変遷と絵画史料—『年中行事絵巻』と『雲図抄』をめぐって—	黒滝哲哉	-85
幕臣団の役職就任願いについて—幕末期少禄幕臣達の内願史料の紹介—	田淵正和	-87
雑報		
平成元年度非常勤講師		-89
平成元年度開講科目一覧		-89
受贈図書・雑誌目録		-91
日本大学史学会役員		-99
研究室だより		-100
第45号 故佐々木正勇先生追悼号 平成2年9月発行		
故佐々木正勇先生遺影		
弔詞	松村潤	-1
佐々木正勇先生年譜ならびに著作目録		-3
論文		
天竜川水運による樽木の使途と勘定	村瀬典章	-7
城下町若松の支配組織について	酒井民樹	-26
研究ノート		
ゲオルク・アマンドゥス試論—ミュンツァーとの比較—	藤井潤	-45
史料目録		
秋葉家史料目録(十九)	日本大学近世史研究会	-61
新刊紹介		
小島淑男著『留日学生の辛亥革命』	高綱博文	-75
<秋季講演会要旨>		
フランス革命とわれわれ	澤田昭夫	-77
雑報		
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-79
平成元年度卒業論文題目		-80
平成元年度通信教育部史学科卒業論文		-83
平成元年度修士論文題目		-84
受贈図書・雑誌目録		-84
木村清氏寄贈図書目録		-91
日本大学史学会会則		-105
研究室だより		-106
第46号 平成3年3月発行		
論文		
小藩城下町の支配機構と住民負担—十万石領富山城下町—	田中喜男	-1
戦国大名今川氏の徳政令—「借錢借米」・「買地」の安堵と徳政令	臼井進	-24
史料目録		
秋葉家史料目録(二〇)	日本大学近世史研究会	-42
<春季講演会要旨>		
琴をひく埴輪	亀井正道	-71
<秋季講演会要旨>		
事実と真実の間にあるもの—新たな中国史研究のスタイルをめぐって—	伊原弘	-73
雑報		
平成二年度非常勤講師		-77
平成二年度開講科目一覧		-77
受贈図書・雑誌目録		-79
木村清氏寄贈雑誌目録		-89
研究室だより		-90

第47号 平成4年1月発行

論文		
ジーモン・ハーフェリッツの洗礼観	藤井潤	-1
トンキン湾事件とトンキン湾決議	毒島雄二	-17
史料目録		
秋葉家史料目録(二十一)	日本大学近世史研究会	-48
<春季講演会要旨>		
民族の系譜—新疆・シベ族とその周辺—	加藤直人	-63
雑報		
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-66
平成2年度卒業論文題目		-68
平成2年度通信教育部史学科卒業論文		-71
平成2年度修士論文題目		-72
平成2年度博士論文題目		-72
受贈図書・雑誌目録		-73
日本大学史学会会則		-80
研究室だより		-81

第48号 平成4年7月発行

論文		
ブルクハルトの『歴史の研究』について—「新橋」の「序論」の構成を中心として—	岸田達也	-1
戦国大名今川氏の「不入」について—不入権の否定と不入権の付与について—	臼井進	-22
調査報告 播磨国矢野庄現地調査報告概報	三藤秀久	-38
史料目録		
秋葉家史料目録(二十二)	日本大学近世史研究会	-50
護雅夫・岩澤愿彦両先生の古稀を祝って	松村潤	-70
護雅夫先生年譜ならびに主要著作目録		-71
岩澤愿彦先生年譜ならびに主要著作目録		-72
新刊紹介		
田中喜男著『近世在郷町の研究』	竹中眞幸	-73
<秋季講演会要旨>		
『太平記』とその時代	佐藤和彦	-79
<月例会発表要旨>		
平安時代における文人官僚の一動向	黒滝哲哉	-81
都城と儀礼空間—平城京と長安城の比較を中心—	武廣亮平	-83
雑報		
受贈図書・雑誌目録		-85
研究室だより		-96

第49号 平成4年10月発行

論文		
ロストフツェフのローマ史像とロシア	坂口明	-1
近代中国における在来綿織物業の展開—南進の土布業について	星野多佳子	-27
史料目録		
秋葉家史料目録(二十三)	日本大学近世史研究会	-51
<春季講演会要旨>		
都市から、日本の近代を見る	石塚裕道	-62
<月例会発表要旨>		
加藤高明の外交政策決定に関する一考察	市田真理	-66
雑報		
日本大学文理学部学術研究発表会(史学部会)		-68
平成3年度卒業論文題目		-70
平成3年度通信教育部史学科卒業論文題目		-72
平成3年度修士論文題目		-74
受贈図書目録(一)~(四)	(26) (50) (65) (67)	
受贈雑誌目録(一)~(三)	(67) (69) (74)	

研究室だより		-77
第50号 平成5年3月発行		
第50号刊行に際して	松村潤	-1
論文		
日本大学考古学復活の頃	木村勇	-2
揺籃期の考古学研究会	山内昭二	-5
北関東農村史料調査の経緯	鶴岡隆	-14
北関東農村史料調査の懐想	吉見周子	-26
東洋史・西洋史の思いで	松村潤	-34
泰山府星について	遠藤克己	-41
北条氏の安堵と主従制	工藤勝彦	-57
幕府存在期の信長の京都支配における木下秀吉の立場	臼井進	-66
江戸町名島崎家の家督相続について	牛米努	-76
村高と村の成立について—三河国碧海郡を事例にして—	村瀬典章	-85
江戸の火打石	小林克	-95
幕末土佐藩における西洋砲術の導入・伝習	梶輝幸	-111
嘉永6年の政界に対する諧謔・風刺についての一考察	濱屋雅軌	-126
井上甚太郎と中江兆民	坂本守央	-137
クリシュナ信仰における祭祀の変遷に関する一考察	及川弘美	-143
日本大学史学会「史叢」総目録Ⅱ		-155
第51号 平成5年12月発行		
論文		
「血の日曜日」とペテルスブルクの労働者	土屋好古	-1
トーマス・ミュンツァーのアルシュテット洗礼式—洗礼観の考察—	藤井潤	-15
フランスコ形土坑に関する一考察—埼玉県間丸山台遺跡の集落	野中和夫	-28
復源から—		
柴田勝家の越前支配について—信長の知行安堵状をめぐる—	臼井進	-57
秦漢における皇帝六璽—天子璽と皇帝璽を中心に—	斎藤実郎	-73
ホイファ世系考察	後藤智子	-92
研究ノート		
近世後期下総飯沼地域の文化状況—崎房村秋葉修身・義之の活	小松修	-108
動を中心に—		
書評		
中原俊章著『中世公家と地下管人』	黒滝哲哉	-118
<岸田達也先生古稀>		
岸田達也先生古稀を祝って	松村潤	-125
岸田達也先生年譜ならびに著作目録		-126
第52号 平成6年3月発行		
論文		
親鸞における絶対他力思想の確立過程—その生活史的考察—	石坂富司	-1
昭和期海軍大進校の特質	高橋秀典	-27
中国古代における“分田”の問題	斎藤実郎	-48
研究ノート		
越相同盟の—コマ「書札之事」について—北条氏照第一信の意義	臼井進	-74
資料目録		
秋葉家史料目録(二十四)	日本大学近世史研究会	-79
<松村潤先生古稀>		
松村潤先生古稀を祝って	亀井正道	-99
松村潤先生年譜ならびに主要著作目録		-100
新刊紹介		
『川崎市史』通史編1(自然環境・原始・古代・中世)	渡邊浩史	-101
雑報		
第53号 平成6年12月発行		
<故福地重孝先生追悼号>		
弔辞	亀井正道	-1

福地重孝先生年譜および著作目録		-3
論文		
メソディズム運動と十九世紀イギリス労働運動－労働諸階級全国同盟によるクラス組織の受容と転換－	馬淵彰	-8
研究ノート		
織田政権の在地領主支配について－粕氏関係文書を事例として	臼井進	-25
史料目録		
秋葉家文書史料目録(二十五)	日本大学近世史研究会	-34
新刊紹介		
蔵並省自著『海保青陵経済思想の研究』	田中喜男	-54
雑報		
第54・55合併号 平成7年12月発行		
論文<特集「国郡制と領域支配」>		
(古代)郡家の所在と郷の編成－『和名類聚抄』にみえる郡家郷をめぐって－	中村順昭	-1
(中世前期)庄郷「領域」の歴史的政策と中世国家－「在所」論の観点から－	鈴木国弘	-11
(中世後期)室町幕府と織田政権との関係について	臼井進	-39
論文		
朝光寺原式土器の成立過程	浜田晋介	-54
八世紀から「撰関期」にかけての外記職掌の変遷	黒滝哲哉	-70
イギリス外交の転換－「英独同盟」交渉から日英同盟へ	藤波潔	-86
史料目録		
秋葉家史料目録(二十六)	日本大学近世史研究会	-101
新刊紹介		
デイヴィッド・M・ウィルソン著、中尾太郎訳『大英博物館の舞台裏』	黒滝哲哉	-109
雑報		
第56号 平成8年11月発行		
論文		
文人貴族の政治意識	鈴木哲	-1
戦国期松平氏と徳政令－「借錢借米」の安堵との関わりから－	臼井進	-16
日本橋魚河岸－河岸地と地租改正－(I)	瀧島功	-26
史料紹介		
落手「永代橋崩壊の大惨事」	上保国良	-43
雑報		
第57号 平成9年3月発行		
論文		
柳田國男の一九二〇年代社会論	秋山真一	-1
日本橋魚河岸－河岸地と地租改正－(II)	瀧島功	-25
研究ノート		
慶長期における徳川秀忠家臣と西国大名－細川忠興・忠利を事例として－	鍋本由徳	-46
お雇い外国人医学教師の業績および来日背景の研究－アルブレヒト・フォン・ローレンツの場合－	小形利彦	-75
<護雅夫先生追悼>		
遺影・略年譜ならびに主要著作		-85
護先生の憶い出	松村潤	-87
雑報		
第58号 平成9年10月発行		
論文		
富士行者食行身禄の政治・社会批判そして入定の背景(上)	平野榮次	-1
戦国大名今川氏の感状について－天野文書を素材として－	臼井進	-25
明治初年の河岸地－地租改正による河岸地改革の前提－	瀧島功	-32
研究ノート		

供御人・神人の歴史的性格の推移について―特に湖南地域を題材として―	日本大学中世史研究会	-56
	下川雅弘・中川英之・渡辺延行	
＜村井益男・亀井正道両先生古稀＞		
村井益男・亀井正道両先生の古稀を祝って	石塚裕道	-71
年譜・主要著作目録		-72
書評		
西野嘉章『博物館学』書評―博物館先進国フランスの原状からみた日本への提言―	黒滝哲哉	-74
雑報		
第59号 平成10年3月発行		
論文		
一七九二年におけるフランス農民運動―ドローム県の事例―	中島幹人	-1
「ダイナブック」―アラン・ケイの目指した理想のパーソナル・コンピューター―	毒島雄二	-20
歴史学におけるコンピューター利用	山崎かおる	-33
研究ノート		
宋代史研究の新視点―現地調査の過程において―	伊原弘	-45
雑報		
第60号 平成11年3月発行		
論文		
富士行者食行身禄の政治・社会批判そして入定の背景(下)	平野榮次	-1
『自由新聞』にみる対外観―一八八〇年代の朝鮮・清国論についての一考察	鳥羽さおり	-19
研究ノート		
上杉家文書に見る論旨―その関連文書とともに―	臼井進	-54
雑報		
第61号 平成11年12月発行		
＜故亀井正道先生追悼号＞		
亀井正道先生年譜ならびに主要著作		
弔辞	石塚裕道	
論文		
古墳時代の首長と鉄生産―吉備南部平野を中心に―	安倉清博	-1
金沢藩、儒者上田作之丞の小生産者、下層民への資格―天保六年の著作『老の路種』を中心に―	田中喜男	-21
研究ノート		
明清時代の紳士に関する一考察	斎藤史範	-35
雑報		
第62号 平成12年3月発行		
論文		
宋代佃戸の移転の自由・不自由問題と「主僕の分」	丹喬二	-1
「十郎家忠」武勇譚からみた金子村山党の歴史的位罫―治承寿永内乱史の一コマ―	鈴木国弘	-22
研究ノート		
若狭国多烏浦秦守高の刀祢職改易事件とその対応―浦刀祢職喪失の危機的状況と家格保持(Ⅰ)―	大竹雅美	-48
＜石塚裕道先生古稀＞		
石塚裕道先生古稀を祝って	佐々木隆爾	-72
石塚裕道先生略年譜ならびに主要著作		
雑報		
第63号 平成12年12月発行		
論文		
イングランド南部の農業労働者の組合活動と教会―一八七〇年代後半の全国農業労働者組合の自由主義政策展開を中心に―	馬淵彰	-1

江戸初期における豊臣大名と徳川家一土佐山内家の「取次」「懇意の旗本」一 雑報	鍋本由徳	-21
第64号 平成13年3月発行		
論文		
第一次革命期の労働者リーダーシップーペテルブルク・ソヴィト代表復元と分析の試みー	土屋好古	-1
研究ノート		
大田直次郎の「狂歌」	上保国良	-39
第65号 平成13年12月発行		
論文		
ルイー六世の裁判における第三回の投票について	遅塚忠躬	-1
『中外抄』の性格をめぐるー雨僧正仁海説話を題材にー	黒滝哲哉	-32
書評		
西野嘉章『二十一世紀博物館ー博物資源立国へ地平を拓くー』	黒滝哲哉	-51
第66号 平成14年3月発行		
論文		
本学所蔵の樺太土器	竹石健二 澤田大多郎	-1
研究ノート		
戦国期西三河、尾張の在地構造ー色成年貢と不入ー	臼井進	-27
新刊紹介		
加藤周一編『ハーバート・ノーマン 人と業績』	佐藤宏治	-35
歌田眞介著『油絵を解剖するー修復から見た日本洋画史ー』	椎名則明	-38
雑報		
第67号 平成14年9月発行		
論文		
民謡はどのように歴史の記憶を凝縮するかー八重山民謡「安里屋ユンタ」を事例としてー	佐々木隆爾	-1
清初の旧漢人と八旗漢軍	綿貫哲郎	-31
武家権力による諸役賦課と荘園領主・在地社会の対応ー乙訓郡一揆の再検討を通してー	下川雅弘	-42
九～十世紀における石清水八幡宮の発展過程についてー二つの創立縁起の比較からー	八馬朱代	-72
平成14年度日本大学史学会総会概報		-104
雑報		
第68号 平成15年3月発行		
論文		
横穴墓における葬送儀礼の様相ー津田山丘陵を中心としてー	津田憲司	-1
住居址内出土の注口土器ー出土状態からみた注口土器の機能・用途についてー	須原拓	-21
研究ノート		
筑・筑状木製品の研究	赤堀岳人	-45
「明和三美人」について	田中葉穂子	-69
新刊紹介		
小沢節子『「原爆の図」ー描かれた〈記憶〉、語られた〈絵画〉ー』	椎名則明	-82
雑報		
第69号 平成15年9月発行		
論文		
漢代における皇太后の再検討	塚本剛	-1
梵鐘銘文にあらわれた「日本」表記の意味ー中世・日本論の新たな視点の一つとしてー	湯川紅美	-22
「今川仮名目録」第一条について	臼井進	-48
書評		

金子淳『博物館の政治学』 目録	黒滝哲哉	-62
「環境史」関連文献目録(雑誌論文)－自然と人間編－ 雑報	椎名則明 下川雅弘 國分裕	-126
第70号 平成16年3月発行		
論文		
第一次世界大戦期アイルランドにおけるナショナリティの交錯－タ ラモア銃撃事件(一九一六)の事例から－	森ありさ	-1
研究ノート		
永正・天文年間における乙訓郡－揆史料の紹介と年代比定	下川雅弘	-22
資料紹介		
世田谷区狐塚古墳表採遺物	御代七重	-34
雑報		
史叢総目録Ⅲ		
第71・72号 平成17年3月発行		
論文		
魏晋～隋唐時代の土地制度と農民－西晋の占田・課田制の分析 を中心に－	丹喬二	-1
井上甚太郎と東雲新聞－中江兆民をめぐって－	坂本守央	-29
研究ノート		
「かな目録追加」第八条について	臼井進	-46
日露戦争関連記事索引作成のための覚書－『ニーヴァ』(1)－	土屋好古	-180
研究余録		
梵鐘研究の現状と課題－国際シンポジウム「東アジアの梵鐘」に 参加して－	湯川紅美	-51
書評		
片倉芳和『宋教仁研究－清末民初の政治と思想－』	菅澤幸太郎	-57
目録		
「環境史」関連文献目録(単著)－自然と人間編－	椎名則明 下川雅弘 関屋雄一 吉原潤	-202
雑報		
平成十六年度日本大学史学会総会概報		-64
平成十六年度日本大学史学会役員		-68
平成十六年度日本大学史学会例会要旨		-69
平成十五年度卒業論文題目		-71
平成十五年度修士論文題目		-75
平成十六年度卒業論文題目		-76
平成十六年度修士論文題目		-80
平成十六年度非常勤講師一覧		-82
平成十六年度開講科目一覧		-82
受贈図書目録(1)～(5)	(45) (50) (56) (81) (86)	
受贈雑誌目録		-91
受贈報告書目録		-98
研究室だより		-203
第73号 平成17年9月		
<佐々木隆爾先生古稀記念号>		
佐々木隆爾の古稀を祝って	中村順昭	(Ⅱ)
佐々木隆爾教授 経歴・業績		(Ⅳ)
論文		
『政基公旅引付』を読んで－和泉国守護細川氏との対抗関係を通し	臼井進	-1
二十世紀初頭ルーマニアにおける選挙権論争－『社会生活』のアン ケートを中心に－	高草木邦人	-11
研究ノート		
関ヶ原合戦の再検討－慶長五年七月十七日前後－	布谷陽子	-29

目録

「環境史」関連文献目録(官公庁関係出版物)	椎名則明 下川雅弘 関屋雄一 吉原潤	-102
雑報		
平成十七年度日本大学史学会総会概報		-43
平成十七年度日本大学史学会役員		-47
平成十六年度日本大学史学会例会報告要旨		-48
受贈図書目録		-49
受贈雑誌目録		-51
受贈報告書目録		-58
スペルを訂正すべきか否か		
第74号 平成18年3月 〈古代史特集号〉		
古代日本における銀と銀錢—和同開珎の前後—	江草宣友	-1
八世紀の武蔵国司と在地社会	中村順昭	-18
一条・後一条天皇の石清水行幸について—長徳・長保・長元時の特徴—	八馬朱代	-29
平安後期「撰関家文殿」の機能と役割	黒滝哲哉	-46
古代・中世前期のアザラシ皮と北方交易	武廣亮平	-65
「環境史」関連文献目録(科学研究費補助金報告書)	椎名則明 下川雅弘 関	-112
第75号 平成18年9月		
戦国大名今川氏の家臣団統制—時間的経過とその対応の変化について—	臼井進	-1
明治末期「高等遊民」の文化・芸術活動—安倍能成を中心に—	町田祐一	-17
日露戦争関連記事索引作成のための覚書—『ニーヴァ』(2)—	土屋好古	-86
第76号 平成19年3月		
継体即位前における北陸地方の情勢—継体母方系譜を中心に—	堀川徹	-1
戦国大名後北条氏の不入権について	臼井進	-18
鎌倉幕府「守護」設置の目的—「奥郡」と「陸奥所」の検討を通して—	鈴木國弘	-30
明治末期における「高等遊民」問題への解決策—メディアの論調か	町田祐一	-54
加納楽市場の所在について	吉田義治	-77
第77号 平成19年9月 〈日本古代・中世史特集号〉		
鎌倉幕府成立史私論—国郡制論との関係から—	鈴木國弘	-1
刀●と舎人	中村順昭	-24
古代陸奥国の「奥郡」とその性格—「奥邑・奥県」、「奥地」との比較検討を通じて—	武廣亮平	-35
東三条院と上東門院の石清水八幡宮・住吉社行啓についての試論	八馬朱代	-46
古代の鐘と伽藍配置にみる鐘楼—鐘銘研究への前提として—	湯川紅美	-60
平安後期の文殿および文庫研究の動向とその意義	黒滝哲哉	-72
「脇門跡」について	関谷雄一	-83
戦国期武田氏の飛驒侵攻と織田信長	柴辻俊六	-94
戦国大名後北条氏の支城領制と北条氏照	井上恵一	-107
戦国大名間の同盟に関する一考察—越相同盟における上杉氏側の同盟認識について—	千葉篤志	-121
贈与論と日本中世史研究	下川雅弘	-139
系図史料にみる大名池田家の出自と摂津—池田恒興の摂津支配についての一試論—	小林将司	-151
栃木県芳賀町の板碑の特色と阿弥陀—尊種子板碑について	林宏子	-158
関ヶ原合戦と二大老・四奉行	布谷陽子	-166

有孔罎付土器の出土状態とその用途—中部高地を中心に—	副島蔵人	-240
第78号 平成20年3月		
〈東洋史特集号〉		
均田制に関する一考察	丹喬二	-1
前漢時代における外戚の封侯	塚本剛	-41
ある北宋知識人の日常と生涯—朱長文に関する伝記史料の解析を中心に—	須江隆	-58
明初、洪武年間の進士合格者とその出身地	斎藤史範	-74
行政と医療—監獄・犯罪調査からみる機能—	多々良圭介	-85
「世職根源冊」からみた清初の降清漢人	綿貫哲郎	-100
上海日本人居留民の歴史意識の生成—沖田—の場合—	高綱博文	-117
三線建設政策決定過程における「調整派」の抵抗と後退	小林卓	-136
一九二一年のトルコ国際法	粕谷元	-154
中世盛期フランス王領地における騎士身分の形成—国王役人編成の検討を中心に—	林亮	-198
古墳時代後期における琥珀製棗玉の再検討—地域的偏在と大型	斎藤あや	-218
第79号 平成20年9月		
戦前・戦中期および敗戦直後の金森徳次郎の経歴について	霜村光寿	-1
昭和天皇の戦争責任問題について	古川隆久	-18
筒井清忠著『昭和十年代の陸軍と政治—軍部大臣現役制の虚像と実像—』	安井淳	-29
ペルシア(現ペルー)戦役期における「故ユリウス・カエサル」利	山本興一郎	-90
第80号 平成21年3月		
日露戦争前後の日本における中国観—男女別児童雑誌を素材とし	金山泰志	1
十九世紀末ルーマニアにおける左派知識人—ルーマニア社会民主	高草木那人	21
労働者党解党の再解釈—		
『慶長日件録』の慶長三陸津波関連記事—地震学に果たすべき歴史	下川雅弘	45
学の役割—		
明治末期における民間職業紹介所構想—「帝国職業紹介所」案につ	町田祐一	51
いて—		
「東アジア共同体」論雑感	鈴木國弘	64
第81号 平成21年9月		
弥生集落と生産耕地の立地論的検討	浜田晋介	118
7世紀における土器様式の転換と東アジア	山本孝文	97
竹筒形有孔罎付土器について	副島蔵人	75
年度作戦計画に見る日本海軍の海上交通保護問題認識—一九三七	坂口太助	1
～四一年—		
高綱博文著『「国際都市」上海のなかの日本人』	片倉芳和	21
第82号 平成22年3月		
論文		
六御県に関する試論—延喜式祝詞から見た成立と歴史的意義—	堀川徹	1
「新しい中世」の時代の到来と歴史的対応の試み—今後の自力救	鈴木國弘	18
済論のあり方に関する試論—		
研究ノート		
享保改革期飯沼新田開発について—下総国仁連町名主鈴木善右衛	長尾政紀	37
門を例に—		
目録		
「環境史」関連文献目録(都道府県史)	椎名則明 下川雅弘 榎	76
第83号 平成22年9月		
論文		
清代における信仰と「治療」	多々良圭介	1
一九三九年八月から二月までの言論界の対ソ論調—日ソ提携問	多比羅充	21
題を中心に—		

研究ノート		
いわゆる廢刀令の再検討	田口智博	39
研究動向		
日本の中華世界観の形成とその現代的意義-第二回「東アジア共同体」シンポジウムに寄せて-	鈴木國弘	53
論文		
改革連盟の権利観とイングランド第二次選挙法改正運動	竜田皓介	104
第84号 平成23年3月		
講演記録		
日本歴史と武士道	高橋昌明	1
論文		
大正中期における金森徳次郎の憲法論-緊急勅令の諾否未決問題	霜村光寿	17
研究余録		
「天正壬午の乱」と城景茂・昌茂	小川雄	40
第85号 平成23年9月		
論文		
中世「縁」世界の歴史的本質と展開-「縁のネットワーク」をめぐる顕密系仏教と専修念仏系仏教の対決-	鈴木國弘	1
十州塩田組合の紛議と交詢社グループ-農商務省の塩業政策をめぐる-		22
研究ノート		
戦国大名朝倉氏の在地支配について	臼井進	40
第86号 平成24年3月		
論文		
大正期におけるジャズの認知過程について	青木学	64
研究ノート		
岡本大八事件試論	小川雄	1
書評		
町田祐一著『近代日本と「高等遊民」-社会問題化する知識青年層-	石川徳幸	13
第87号 平成24年9月		
講演記録		
「和蘭陀風説書」の世界-オランダと日本-	松方冬子	1
論文		
日本の新聞はいかに「苦学生」を語ったか-一九一〇年代の『萬朝報』を中心に-	町田祐一	16
研究ノート		
戦国大名今川氏の領国支配について-今川氏に対する意思伝達に関わって-	臼井進	33
目録		
「環境史」関連文献目録(児童書)	椎名則明 吉原潤 下川	105
論文		
西日本の5遺跡から採取した貝殻試料の放射性炭素年代と較正年代-較正年代による遺跡の編年-	小元久仁夫 竹石健二	128
第88号 平成25年3月		
論文		
幸徳秋水と井上甚太郎-棉花輸入税と社会問題をめぐって-	坂本守央	1
田中義一内閣期の前田米蔵	古川隆久	15
外交国策転換期における言論界の対ソ連論調-一九四〇年五月から九月までの日ソ提携問題を中心に-	多比羅充	33
書評		
松本健一『昭和史を陰で動かした男 忘れられたアジテーター-五百木飄亭』	石川徳幸	51
坂口太助『太平洋戦争期の海上交通保護問題の研究-日本海軍の対応を中心に-』	佐藤宏治	59

第89号 平成25年9月

論文

史学史上における日本中世の国家と天皇-草創期近代歴史学会の回顧から-	鈴木國弘	1
戦後における戦没者遺族運動と靖国神社-1945~50年を中心に-	高津朋子	24
研究ノート 音楽関係者は「ジャズ」をいかに語ったか-雑誌『音楽雑誌』1929(昭和4)年10月号を中心に-	青木学	98
新刊紹介 石川徳幸『日露開戦過程におけるメディア言説-明治中期の対外思潮をめぐる一試論-』	中田崇	42

第90号 平成26年3月

大会講演

歴史は、こうしてつくられる	井上章一	1
論文 中央政界の足尾鉍毒事件における認識をめぐって-第十六議会前から第十八議会後まで-	笠原亮介	13
近代東京における雇人口入業について	町田祐一	29
資料紹介 太平洋戦争末期の陸軍幼年学校-小野重典氏談話要旨-	古川隆久	46
論文 九一年憲法体制下のピレネー地方における市民構成の再検討-ジェール県の貧困調査報告書における「愛勤市民」数の分析を中心	中島幹人	72

第91号 平成26年9月

論文

城司制の再検討	吉田修太郎	1
木戸幸一の思想形成過程について-青年期の日記を中心に-	塚田安芸子	21
研究ノート 今川義元没後の三河国-足利義輝の駿・三和睦令をめぐって-	臼井進	39
研究余録 林羅山の「湯武放伐論」について	小川雄	48
書評 金山泰志著『明治期日本における民衆の中国観-教科書・雑誌・地方新聞・講談・演劇に注目して-』	片倉芳和	51
論文 大正期における「ジャズ」事情-なぜ低級と呼ばれたか-	青木学	111
大会講演 グローバル・ヒストリーの史学的位置	小田中直樹	128

第92号 平成27年3月

<古代史特集号>

論文

ミヤケ制研究の射程-研究史の到達点と課題-	堀川徹	1
出雲国の日置氏について	武廣亮平	13
八世紀における国の分立と廃止	中村順昭	22
古代雄勝城の成立とその歴史的展開	吉田修太郎	31
円仁の求法・巡礼と新羅人	江草宣友	43
平安時代史研究への一所感-三条天皇退位事件を題材に-	黒滝哲哉	53
白河天皇(法皇)の石清水八幡宮信仰について-白河・堀河天皇の時期を中心に-	八馬朱代	64

第93号 平成27年9月

論文

「権門体制」論は、果たして「アジア」史観か — ユーラシア大陸の東・西両端文明の比較を通して	鈴木国広	1
研究ノート		

戦国大名六角氏の発給文書の特色 : -伊庭貞隆の文書を中心に 大会講演	臼井進	20
イスラムの衝撃と西欧世界	鈴木董	94
第94号 平成28年3月		
小特集「近代日本社会とラジオ利用」		
大会報告		
大会報告 近代日本社会とラジオ利用—ラジオ放送九〇周年を記念	企画委員会・編集委員会	1
論文		
近代日本における公立職業紹介事業のラジオ利用	町田祐一	7
戦間期における日本海軍の宣伝活動	坂口太助	21
日中戦争前後のラジオで放送された中国関係番組	金山泰志	37
研究ノート		
天正十六年京上人夫役賦課をめぐる—徳川家康と三河一向宗	臼井進	51
書評		
霜村光寿著『金森徳次郎の憲法思想の史的研究』	坂口太助	66
第95号 平成28年7月		
特集「古代南武蔵の郡家と交通」		
趣旨説明		
シンポジウム「古代南武蔵の郡家と交通」	企画委員会・編集委員会	1
論文		
馬絹古墳が円墳であるという認識への疑問	新井悟	2
橘樹官衙遺跡群の調査とその成果—橘樹郡衙跡の到達点と課題	河合英夫	12
影向寺遺跡について—単弁蓮華文の系譜を考える	高橋香	24
武蔵国造の乱と橘花ミヤケ—七世紀以前の南武蔵	堀川徹	35
武蔵国橘樹郡家と南武蔵の交通	荒井秀規	48
律令制下における橘樹郡の様相	望月一樹	59
影向寺遺跡と古代東国の郡家・寺院	三舟隆之	71
論文		
アイルランドにおけるイースター蜂起(1916)の時代背景 : スティーヴンス・グリーン占拠を中心に	森ありさ	102
第96号 平成29年3月		
大会講演		
昭和戦前期の岐路と日本の選択	加藤陽子	1
論文		
『保暦間記』を考える—武家史観の源流	関幸彦	18
足尾鋇毒事件と治水論—第一八議会における井上甚太郎、島田三郎と武藤金吉	坂本守央	41
横穴式石室の石材架構順序と目地形成—石室構築集団に関する基礎的研究	平石冬馬	98
研究ノート		
戦国大名六角氏の安堵権の確立過程—近江国高島郡地域を中心に	臼井進	59
第97号 平成29年9月		
日本近世史特集号		
特集にあたって		
論文		
一七世紀、ヨーロッパ人の徳川家康・秀忠理解について—イギリス商館員の記述を中心にして	鍋本由徳	1
城昌茂に関する基礎的研究—徳川家康側近としての動向を中心と	小川雄	14
裁許裏書絵図に関する一考察—窪田地区振興会所蔵「裁許裏書絵図」を事例として	渡辺文久	25
幕末の雄藩による国事周旋活動と藩屏概念についての覚書	工藤憲一郎	41
研究ノート		
戦国期三好氏の領国支配—三好長慶関連文書をめぐって	臼井進	54
第98号 平成30年3月		

博物館学・文化財学特集号

大会講演

シルクロード・東ユーラシア世界の研究と古代日本	鈴木靖民	1
論文		
戦国期三好氏の領国支配期の松永久秀について—信長の上洛以	臼井進	32
特集		
大塚英明先生の逝去を悼む	上保國良	47
特集にあたって		50
絵画資料からみる木工具の変遷とその社会背景—十三世紀から十	竹ノ内悠	53
六世紀を中心として		
鐘銘にみる金属文化財の伝世—中世における梵鐘の追銘分析を通	湯川紅美	68
ミュージアム展示がもたらす「教育効果」への一考察—第五回内国	黒滝哲哉	85
勸業博覧会人類館事件を題材に		
博物館における体験学習プログラムと時代考証について—火おこし	副島蔵人	122
体験と原始・古代の発火具		
資料紹介		
国指定名勝旧龍性院庭園の調査成果	大平知香	96

第99号 平成30年9月

西洋史特集号

特集にあたって		1
漱石とパレオロガス—日本はいつローマ帝国と出会ったか?	遠藤直子	25
ルーマニア王国におけるトラヤヌス帝の「記憶」—トラヤヌス帝のダ	高草木邦人	40
キア征服1800年記念を中心に		
中世ヨーロッパにおける古代ローマ軍の記憶の継承と受容について	林亮	51
: ウェゲティウス『軍事覚書』の検討を中心に		
第二回三頭政治中期における表象と相互作用—偉大な父の息子達	山本興一郎	69
の確執と模倣		
ポンペイの組合	坂口明	84
研究余録		
7つ目のウォーナー記念碑	椎名則明	12

第100号 平成31年3月

『史叢』100号を迎えて

講演	坂口明	1
維新における「公議」と暴力—双生児としての誕生から訣別まで	三谷博	3
論文		
農事試験場の設立と『気候論』—井上甚太郎と自由党政務調査局	坂本守央	22
をめぐって		
日本海軍による海難救助活動の数量的分析—『海軍省年報』を手	坂口太助	37
がかりに		
日露戦争期清国の中立港湾における中立実施について	楊国棟	80